



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社

コード番号 6137 URL <http://www.koikeox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 岡崎 隆

TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,242	△8.4	△71	—	20	△93.5	△471	—
25年3月期第2四半期	19,906	1.3	307	△46.6	323	△43.1	353	103.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 437百万円 (30.2%) 25年3月期第2四半期 335百万円 (△0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△11.38	—
25年3月期第2四半期	8.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	48,343	24,868	48.1	561.39
25年3月期	49,355	24,704	46.9	559.26

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 23,250百万円 25年3月期 23,167百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	△1.2	560	△51.1	770	△45.1	△145	—	△3.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	45,229,332 株	25年3月期	45,229,332 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,814,443 株	25年3月期	3,804,182 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	41,422,191 株	25年3月期2Q	41,747,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興国経済の減速などがありましたが、欧州の景気が下げ止まりしたことや米国経済が回復基調を維持したことなどから、緩やかな回復の動きが見られました。

一方、わが国経済は、各種経済政策を背景に雇用情勢や企業収益の改善、個人消費に好転の兆しが見られ、景気は緩やかに回復しつつあります。

当社グループの主需要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、生産や設備投資に回復の兆しが見えたものの、労働力不足、資材不足による建設工事の遅れや、造船の手持ち工事が低水準で推移したことなどの影響を受けて厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発と販売力強化、生産効率の向上、原価低減や経費削減に取り組みましたが、海外部門の不振などから、その効果は限定的なものとなりました。また、減損損失3億4千万円を特別損失に計上したため、四半期純利益は減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は182億42百万円（前年同期比8.4%減）、経常利益は20百万円（同93.5%減）、四半期純損失は4億71百万円（前年同期は四半期純利益3億53百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 機械装置

機械装置部門においては、5月から創業95周年を記念したグランド95キャンペーンパートⅡを開始するとともに、東日本を中心に実演車を活用した巡回販売を行いました。また、9月に最新鋭の「ファイバーレーザー切断機」、残材の有効活用により歩留り向上を図ることができる「パッケージナビゲーションシステム」、新型プラズマ装置「SUPER-400 PRO」、ポータブルCNC切断機「PNC-12」などを展示したプライベート・フェアを開催しましたが、需要の低迷と競合他社との価格競争により厳しい受注環境になりました。

海外においては、6月の北京エッセンションに続き、9月に開催されたドイツエッセンションに「ファイバーレーザー切断機」、「PNC-12」などの出展・紹介を行い、需要の喚起を図りましたが、ブラジル向け切断機の納入延期などもあり、大幅な減収となりました。

生産面においては、「ファイバーレーザー切断機」の厚板切断面品質と安定性および小円切断能力を向上させ、新規組立ラインを整備するとともに、同切断機の海外現地法人への技術移管を進め、中国、ドイツでの展示会出展用試作機を製作しました。その他、「SUPER-400 PRO」、「PNC-12」の開発を完了させ、プライベート・フェアへの出展を機に国内での受注を開始しました。

しかしながら、国内外の厳しい受注環境が続き、成果をあげることができませんでした。

その結果、売上高は73億32百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント損失は61百万円（前年同期はセグメント利益1億15百万円）となりました。

#### 高圧ガス

工業用ガスにおいては、酸素・窒素などのセパレートガスをはじめとした主要ガスの販売量は、前年並みに推移しました。また、電気料金の上昇や原材料の高騰によるガス価格改定に取り組みました。さらに、新たな営業展開として、水素をベースとした切断用混合ガス「スーパーカットH」、混合器ユニット「スーパーミキシングH」の販売活動を開始しました。

生産面・供給面においては、保安確保のため、「容器管理システム」の更新を行い、容器RFタグ（ICタグ）移行に対応できる準備を整えました。また、国内の炭酸ガス不足を受け、輸入ドライアイスの販売を手掛けるとともに、安定供給・品質確保に努めました。

医療分野においては、酸素濃縮器レンタルのサービス部門の強化・品質向上により契約件数が増加しました。また、睡眠医療の検査関連の営業強化により、「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）の契約件数が増加しました。さらに、新型「クロモフェアF」（LED無影灯）が高評価を受け、更新需要を中心に積極的に営業展開を図りました。

しかしながら、産業ガス関連では本格的な需要回復には至らず、成果をあげることができませんでした。

その結果、売上高は72億46百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は4億38百万円（同9.9%減）となりました。

#### 溶接機材

溶接機材部門においては、溶接材料の主需要先である建築・鉄骨向けの販売量は増加しましたが、造船や建設機械、橋梁向けなどは伸び悩み、溶接材料全体の販売量の回復には至りませんでした。また、溶接材料の販売強化を図るため、新潟に流通拠点を設置し、営業活動を開始しました。

溶接機器においては、グランド95キャンペーンパートⅡを実施し、溶接機、安全保護具、乾式安全器、溶接関連商品の拡販につなげるとともに、北関東こいけ市をはじめ、東京・大阪など全国各地で展示会を開催し、溶接などの実演を行い、溶接機他、溶接・切断関連商品の拡販を図りました。また、9月のプライベート・フェアにおいては、サブマージーク溶接機の実演と安全保護具、水素用乾式安全器、リフティングマグネットなどの展示を行

い、多くの引合いを得ることができました。さらに、輸入商品の販売促進の一環としてドイツ・ダイヤモンド社の金属補修材の既存販売ルートの強化と新規販売ルートの開拓に取り組み、市況の低迷や溶接ロボットなどのシステム販売の減少などもありましたが、収益改善に努めました。

その結果、売上高は34億10百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は71百万円（同18.4%増）となりました。

#### その他

ガス機器においては、大型ヘリウム液化機の引合いが増加し、大学研究機関から1台受注しました。また、排ガス処理装置については、国内半導体・液晶メーカーの統廃合に合わせて製品の改良を行うとともに、電子部品の製造業界団体に対し、新型排ガス処理装置の説明会を実施し、多くの引合いを得ました。海外においては、上海で開催された国際太陽光展示会に出展しましたが、中国経済の減速などの影響により、成果をあげることはできませんでした。

その結果、売上高は2億52百万円（前年同期比47.9%減）、セグメント利益は3百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は483億43百万円で、前連結会計年度末に比べ10億11百万円の減少となりました。

流動資産合計は279億56百万円で、前連結会計年度末比14億13百万円の減少となりました。これは主にたな卸資産9億78百万円増加の一方、受取手形及び売掛金20億99百万円減少によるものです。

固定資産合計は203億87百万円で、前連結会計年度末比4億1百万円の増加となりました。これは主に設備投資による有形固定資産5億円増加によるものです。

流動負債合計は164億91百万円で、前連結会計年度末比17億94百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金8億51百万円減少、短期借入金9億47百万円減少によるものです。

固定負債合計は69億82百万円で、前連結会計年度末比6億18百万円の増加となりました。これは主に長期借入金6億41百万円増加によるものです。

純資産合計は248億68百万円で、前連結会計年度末比1億64百万円の増加となりました。これは主に四半期純損失の計上による利益剰余金7億20百万円減少の一方、円安の進行による為替換算調整勘定7億10百万円増加によるものです。

この結果、自己資本比率は48.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は75億22百万円で、前連結会計年度末に比べ6億79百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは5億35百万円の収入（前年同期は56百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の回収と仕入債務の減少、法人税等の支払いによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは7億33百万円の支出（前年同期は5億71百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは8億5百万円の支出（前年同期は9億72百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期通期の連結業績予想は、平成25年5月10日の決算短信発表時に公表いたしました数値から修正しております。なお、詳細につきましては、平成25年11月8日発表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,615	7,995
受取手形及び売掛金	12,271	10,171
商品及び製品	4,447	4,839
仕掛品	1,515	1,992
原材料及び貯蔵品	1,788	1,898
その他	957	1,261
貸倒引当金	△227	△202
流動資産合計	29,369	27,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,721	3,661
機械装置及び運搬具(純額)	1,355	1,387
工具、器具及び備品(純額)	530	481
土地	9,132	9,110
リース資産(純額)	654	740
建設仮勘定	244	758
有形固定資産合計	15,638	16,139
無形固定資産		
のれん	360	26
リース資産	13	9
その他	156	159
無形固定資産合計	531	195
投資その他の資産	3,816	4,052
固定資産合計	19,985	20,387
資産合計	49,355	48,343

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,625	8,774
短期借入金	4,036	3,089
1年内返済予定の長期借入金	952	1,160
1年内償還予定の社債	140	90
未払法人税等	366	89
賞与引当金	499	350
役員賞与引当金	64	26
製品保証引当金	23	16
その他	2,577	2,894
流動負債合計	18,286	16,491
固定負債		
社債	100	80
長期借入金	1,714	2,356
退職給付引当金	262	251
役員退職慰労引当金	231	215
資産除去債務	13	14
その他	4,042	4,066
固定負債合計	6,364	6,982
負債合計	24,650	23,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,882	16,162
自己株式	△909	△911
株主資本合計	22,359	21,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	587	682
土地再評価差額金	1,233	1,233
為替換算調整勘定	△1,012	△301
その他の包括利益累計額合計	808	1,613
少数株主持分	1,536	1,618
純資産合計	24,704	24,868
負債純資産合計	49,355	48,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	19,906	18,242
売上原価	14,973	13,577
売上総利益	4,932	4,664
販売費及び一般管理費	4,625	4,736
営業利益又は営業損失(△)	307	△71
営業外収益		
受取利息	18	11
受取配当金	32	32
受取賃貸料	45	43
物品売却益	13	13
為替差益	—	72
貸倒引当金戻入額	9	23
その他	23	11
営業外収益合計	143	208
営業外費用		
支払利息	52	66
賃貸費用	29	28
為替差損	17	—
その他	27	20
営業外費用合計	127	115
経常利益	323	20
特別利益		
固定資産売却益	668	38
投資有価証券売却益	5	0
その他	—	1
特別利益合計	674	41
特別損失		
固定資産除売却損	9	16
投資有価証券評価損	35	—
減損損失	57	304
その他	0	4
特別損失合計	101	326
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	896	△264
法人税、住民税及び事業税	388	61
法人税等調整額	86	97
法人税等合計	475	159
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	420	△423
少数株主利益	66	48
四半期純利益又は四半期純損失(△)	353	△471



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	420	△423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	96
為替換算調整勘定	90	764
その他の包括利益合計	△84	860
四半期包括利益	335	437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258	333
少数株主に係る四半期包括利益	76	103

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	896	△264
減価償却費	559	614
減損損失	57	304
のれん償却額	46	45
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△22
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54	△174
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28	△37
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△15	—
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	△28
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4	△9
受取利息及び受取配当金	△50	△44
支払利息	52	66
関係会社株式評価損	0	4
固定資産除売却損益(△は益)	△659	△21
投資有価証券評価損益(△は益)	35	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△0
売上債権の増減額(△は増加)	801	2,590
たな卸資産の増減額(△は増加)	△92	△505
仕入債務の増減額(△は減少)	△920	△1,129
未払消費税等の増減額(△は減少)	6	△65
その他	54	△427
小計	688	895
利息及び配当金の受取額	50	48
利息の支払額	△54	△58
災害損失の支払額	△23	—
法人税等の支払額	△605	△350
営業活動によるキャッシュ・フロー	56	535

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△519	△960
定期預金の払戻による収入	490	901
有形固定資産の取得による支出	△291	△644
有形固定資産の売却による収入	33	98
無形固定資産の取得による支出	△49	△17
無形固定資産の売却による収入	905	—
投資有価証券の取得による支出	△10	△110
投資有価証券の売却による収入	10	85
子会社株式の取得による支出	—	△1
貸付けによる支出	△8	△91
貸付金の回収による収入	11	6
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>571</b>	<b>△733</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△207	△1,125
長期借入れによる収入	400	1,441
長期借入金の返済による支出	△455	△595
社債の償還による支出	△120	△70
自己株式の取得による支出	△89	△2
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△293	△248
少数株主からの払込みによる収入	—	16
少数株主への配当金の支払額	△21	△22
その他	△185	△198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△972</b>	<b>△805</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	324
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△315</b>	<b>△679</b>
現金及び現金同等物の期首残高	6,956	8,201
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>6,640</b>	<b>7,522</b>

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,587	7,251	3,581	19,420	485	19,906	—	19,906
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,587	7,251	3,581	19,420	485	19,906	—	19,906
セグメント利益 又は損失(△)	115	487	60	662	△4	658	△351	307

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△351百万円には、セグメント間取引消去62百万円、のれんの償却額△46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△482百万円、棚卸資産の調整額59百万円、その他の調整額55百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,332	7,246	3,410	17,989	252	18,242	—	18,242
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,332	7,246	3,410	17,989	252	18,242	—	18,242
セグメント利益 又は損失(△)	△61	438	71	448	3	452	△524	△71

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△524百万円には、セグメント間取引消去68百万円、のれんの償却額△45百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円、棚卸資産の調整額△48百万円、その他の調整額△9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械装置」において、収益力の低下に伴い、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては303百万円であります。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	6,533	78.2
高圧ガス (百万円)	187	110.5
報告セグメント計 (百万円)	6,721	78.8
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	6,721	78.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	5,105	74.3	4,954	81.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	7,332	85.4
高圧ガス (百万円)	7,246	99.9
溶接機材 (百万円)	3,410	95.2
報告セグメント計 (百万円)	17,989	92.6
その他 (百万円)	252	52.1
合計 (百万円)	18,242	91.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。